

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

目 次

I	令和3年度事業報告 概要説明	4
II	実施事業	6
1.	法人の運営基盤強化	
1.	組織・事務局体制の充実	6
(1)	事務局体制	6
(2)	監査及び理事会・評議員会の開催	6
(3)	研修会の参加	8
(4)	事務・事業執行体制効率化の推進	10
2.	福祉系大学との連携	10
	相談援助実習生受入事業の実施	10
3.	職員の講師派遣	10
4.	自主財源確保の取り組み強化	11
	会費・寄付	11
5.	日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業	11
(1)	募金実績	12
(2)	災害見舞金配付状況	12
6.	長崎県共同募金会諫早市支会の事業	12
(1)	長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催	12
(2)	募金実績	12
7.	長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部の事業	13
(1)	長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部役員会の開催	13
(2)	募金実績	13
2.	地域福祉活動の推進	
1.	地区社協運営支援	13
(1)	地区社協会長会会議の開催	13
(2)	地区社協運営支援	13
	①支援項目別実績	14
	②地区社協総会及び事業への出席	14
	③ふれあいいきいきサロン	14
	④子育てサロン活動	15
	⑤福祉協力員設置事業	16
	⑥世代間交流事業	16
	⑦高齢者等見守りネットワーク活動	17
	⑧ふれあい食事サービス事業	17
	⑨ひとり暮らし高齢者の集い	17
	⑩地区社協・地域福祉活動計画策定	18
2.	地域福祉強化のための施策	18
(1)	諫早市社会福祉協議会表彰	18
(2)	第4次諫早市地域福祉活動計画の策定	18
3.	生きがい学び事業の実施	18

(1) 上山荘生きがい学び講座の開催	18
(2) 上山荘豆知識講座の開催	19
4. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席	19
(1) 諫早市民生委員・児童委員との連携	19
(2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席	20
(3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加	20
3. ボランティア活動の推進	
1. 福祉意識啓発活動	20
(1) 社協広報紙「かんしゃ」の発行	21
(2) ホームページの充実	21
(3) イベント型福祉意識啓発活動	21
(4) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済切手）	21
(5) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施	21
2. ボランティア活動の振興	21
(1) ボランティア活動の支援（一般向け）	22
(2) ボランティアセンター（登録団体への支援）	22
(3) 諫早市ボランティア連絡協議会への支援	23
4. 共同募金配分金事業の実施	
1. 配分金事業の推進	23
(1) 赤い羽根共同募金配分金事業	23
(2) 歳末たすけあい募金配分金事業	24
5. 福祉総合相談支援事業の実施	
1. ふれあい福祉相談事業の実施	25
(1) ふれあい福祉相談センターの運営	25
(2) ふれあい電話相談	25
(3) 相談状況	25
2. 福祉資金貸付事業の実施	26
(1) 生活福祉資金貸付事業の受託運営	27
(2) 諫早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営	27
3. 日常生活自立支援事業の受託運営	27
(1) 援助活動の実績	28
(2) 契約状況内訳	28
(3) 活動状況	28
4. 成年後見申立相談援助	28
6. 福祉教育推進事業の実施	
1. 福祉教育の推進	29
(1) 福祉教育推進事業協力校の指定	29
(2) 福祉体験学習の支援	30
2. シニア美術手工芸作品展の開催	30
3. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催	30
7. 施設管理経営（指定管理）の受託	
1. 諫早市社会福祉会館の管理・経営	30
(1) 貸館状況	30

(2) 生活援助事業	30
2. 諫早市上山荘南館の管理・経営	31
3. 福祉施設巡回バスの運行	32
4. その他	32
8. 新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策	
生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等特例貸付	32
9. その他の事業の実施	
1. 諫早市水難者慰霊祭の開催	33
2. その他	33
各種委員の推薦	33

I 令和3年度事業報告 概要説明

少子高齢化の進展、家族形態の変容、雇用形態の変化、近隣関係の希薄化などを背景に、様々な生活課題が深刻化しています。

新型コロナウイルス禍が長期化し、市民の生活様式だけでなく、地域における団体活動に大きな制約を受けました。本会では、社会情勢の変化を踏まえ SNS 等を活用した情報通信技術を活用しながら孤立を防ぎ、つながりを絶やさないための活動に取り組みました。【P. 21】

また、経済停滞や雇用状況の悪化による生活困窮などの生活課題を抱える方が、困りごとを抱えむことがないよう丁寧な相談窓口を心がけ、生計維持に支障をきたしている世帯に諫早市民からお寄せいただいたお米の現物寄付とあわせて加工食品など現物支給による支援を行いました。【P. 19】

地域住民の一人ひとりに福祉への関心を持ってもらえるよう、ハロウィンルノンマルシェを開催し、イベントを通して福祉意識の啓発活動を行い、地域福祉に関わる関係人口の拡大に努めました。【P. 21】

【重点施策】

1. 法人の運営基盤強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

市社協は、社会福祉法に規定される公的な性格を持つ民間団体であり、組織のガバナンスや専門性の確保など緊張と自覚を持った組織運営の充実に努めています。

また、市民のみなさんにわかりやすく親しみやすい広報誌の発行と併せ SNS を活用し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど広報活動の強化を図りました。

基金や積立金などの安定的な運用と補助金、委託料の確保に努めるとともに予算の適正かつ効果的な執行と経費節減等に取り組み、持続可能な財政運営を推進しました。

2. 地域福祉活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13

市社協の基礎組織である20の地区・校区社会福祉協議会とともに、住民同士が抱える困りごとや地域の特徴を話し合い、それぞれに特徴ある「地区社協地域福祉活動計画」の作成に取り組み、今年度は4か所の策定が進みました。また、市社協は、話し合いの場づくりを進め、情報通信技術も活用しながら社会情勢の変化に対応した活動支援を行いました。

諫早市内の企業個人から寄贈いただいたお米や、セブン-イレブンジャパンから店舗改装などで発生する在庫商品の寄贈を受け、生計維持に支障がある世帯等に配付し住民参加による地域福祉の推進に取り組みました。

3. ボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20

地域に住む一人ひとりに福祉への関心を持ってもらうためのきっかけづくりとしてイベントを開催し、ボランティア団体の実演の場の提供と、誰もがボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努め、福祉活動の担い手となるボランティアの支援と育成、災害時の支援体制の整備に取り組みました。

また、ボランティア連絡協議会においては、会員相互の連携強化と活動の充実化を図るため、普及啓発活動用のリーフレットを作成し認知向上に努めました。

4. 共同募金配分金事業の実施・・・・・・・・・・・・・P 2 3

市民の総参加で寄せられた共同募金の配分金を活用し、高齢者福祉活動、障害児者福祉活動、児童・青少年福祉活動、母子寡婦福祉活動の支援及び助成を行いました。

新型コロナウイルス禍が長期化した影響をうけ、一部事業の中止や規模縮小等を余儀なくされましたが、地域における団体活動に大きな制約を受けながらも、実施内容や人的体制等の工夫を重ね特色ある地域福祉活動を継続して実施している地区社協に対し、臨時的に助成制度を設けた対応を図りました。

5. 福祉総合相談支援事業の実施・・・・・・・・・・・・・P 2 5

市民のみなさんが気軽に利用できる相談窓口として、ふれあい福祉相談センターを開設しました。あわせて弁護士や司法書士による専門相談も実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

また、認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が十分でない方などが、地域において安心して生活が送れるように、福祉サービス利用のための相談や支援を行うとともに、権利擁護を推進するため、地域の相談支援機関や各分野の専門機関と連携して支援に努めました。

6. 福祉教育推進事業の実施・・・・・・・・・・・・・P 2 9

小・中学校及び高等学校、また、地域や事業所における福祉教育において、障害者や高齢者の疑似体験などを通じて、暮らしの中での困りごとを感じ、解決する方法について学ぶ機会をつくりました。また、児童及び生徒等を通じて、家庭及び地域社会においても、お互いを認め相手を思いやる心の醸成に努めました。

7. 施設管理経営（指定管理）の受託・・・・・・・・・・・・・P 3 0

社会福社会館と上山荘南館の指定管理施設の設置目的を十分踏まえ、誰もが気軽に利用できるよう、利用者の利便性の向上を図るとともに、両施設とも設備改修工事による施設改善対策を行い、安全性・快適性の向上に努めました。

また、高齢者向けの生きがい講座を開催し、高齢者の社会参加と健康の増進を図りました。

8. 新型コロナウイルス感染症対策・・・・・・・・・・・・・P 3 2

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金に困窮する方の貸付申請数は減少傾向にありますが、貸付の相談を通して潜在的課題の把握に努め、市の生活困窮者自立相談支援員や関係機関と連携を図りながら、引き続き丁寧な対応を心がけていきます。

Ⅱ 実施事業

1 法人の運営基盤強化

1. 組織・事務局体制の充実

(1) 事務局体制

総務課、地域支援課、地域福祉センター上山荘（2課1施設）

【職員体制】

	一般	契約	臨時・パート	市派遣	計
総務課	3	2	1	1	7
地域支援課	6	1	—	1	8
上山荘	—	1	2	—	3
計	9	4	3	2	18

(2) 監査及び理事会・評議員会の開催

理事（12人）

監事（2人）

評議員（20人）

【理事会の開催】

	議 事
第1回 令和3年 5月26日	議案第1号 令和2年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の専決処分承認について
	議案第2号 令和2年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について
	議案第3号 令和2年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について
	議案第4号 評議員選任・解任委員の選任について
	議案第5号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会理事、監事及び評議員の選出基準に関する規程の一部改正について
	議案第6号 定時評議員会の招集について
	議案第7号 評議員候補者の推薦等について
	議案第8号 次期理事候補者及び監事候補者の推薦について
	報告第1号 社会福祉充実計画における社会福祉充実残額の算定について
	報告第2号 会長・常務理事の職務執行状況報告について

	議 事
第 2 回 令和 3 年 6 月 1 6 日	議案第 9 号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議案第 1 0 号 評議員候補者の推薦等について
第 3 回 令和 4 年 3 月 2 5 日	議案第 1 1 号 令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号）の専決処分承認について 議案第 1 2 号 令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号）の専決処分承認について 議案第 1 3 号 令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 3 号）の専決処分承認について 議案第 1 4 号 令和 4 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について 議案第 1 5 号 令和 4 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支予算について 議案第 1 6 号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 議案第 1 7 号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について 議案第 1 8 号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について 議案第 1 9 号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の一部改正について 議案第 2 0 号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会役員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 議案第 2 1 号 評議員会の招集について 議案第 2 2 号 評議員候補者の推薦等について 報告第 3 号 諫早市地域福祉活動計画について 報告第 4 号 会長・常務理事の職務執行状況報告について 報告第 5 号 各種施行細則の改正について

【監査】

	議 事
第 1 回 令和 3 年 5 月 1 3 日	令和 2 年度事業及び会計監査

【評議員会の開催】

	議 事	
第 1 回 令和 3 年 6 月 1 4 日	議案第 1 号	令和 2 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号）の専決処分の承認について
	議案第 2 号	令和 2 年度諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について
	議案第 3 号	令和 2 年度諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について
	議案第 4 号	理事及び監事の選任について
第 2 回 令和 4 年 3 月 2 9 日	議案第 5 号	令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号）の専決処分の承認について
	議案第 6 号	令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号）の専決処分の承認について
	議案第 7 号	令和 3 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 3 号）の専決処分の承認について
	議案第 8 号	令和 4 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について
	議案第 9 号	令和 4 年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支予算について
	議案第 1 0 号	社会福祉法人諫早市社会福祉協議会役員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について
	報告第 1 号	諫早市地域福祉活動計画について

（３）研修会の参加

職員の資質向上を図るため、研修会に参加しました。

【外部主催研修会及び市社協職員研修】

（人）

月	日	研 修 名	開催地	人数
4	2 6	長崎県消防学校入校研修	大村市	3
	2 8	令和 3 年日常生活自立支援事業緊急実施社協連絡会議（リモート）		2
5	1 4	令和 3 年度社協職員研修「刺さる広報研修会」（リモート）		2
6	1 6	市町社協災害・ボランティア担当者オンライン会議		2
7	9	生活福祉資金等貸付事業関連担当職員事務オンライン説明会		1

月	日	研 修 名	開催地	人数
9	2	令和3年度長崎県市町村社協連絡協 総会（オンライン）		1
	6	福祉教育推進研修会（リモート）		1
	6	令和3年度企業トップクラス及び 公正採用選考人権啓発推進等を 対象とする研修会（オンライン）		1
	27	令和3年度日常生活自立支援事業 専門員実践力研修会（オンライン）		1
10	15	働き方改革関連法に関する説明会	諫早市	1
	20	令和3年度支え合いをひろげる住 民主体の生活支援フォーラム （オンライン）		1
	22	令和3年度地域における総合相 談・生活支援オンライン研修		1
		市町村協災害ボランティアセンタ ー担当者オンライン会議		1
	29	令和3年度市町社会福祉協議会法 人後見支援研修会（リモート）		1
11	2	令和3年度市町社会福祉協議会法 人後見支援研修会（リモート）		1
	9	令和3年度成年後見制度利用推進 会議		1
	16	令和3年度市町社会福祉協議会法 人後見支援研修会（リモート）		1
	18	第3回地域共生社会推進全国サミ ット i n かまむら（オンライン）		1
	19	令和3年度成年後見実務研修会 （オンライン）		1
	22	被災地に寄り添う災害ボランティ アセンター運営研修会（リモ ート）		1
12	6	安全運転管理者講習（オンライン）		1
	7	令和3年度福祉教育担当者オン ライン会議		1
	7	市町村協ボランティアコーディ ネートセミナー		1
	10	令和3年度市町社会福祉協議会 経営基盤強化のための会長事務 局長セミナー（オンライン）		2
	10	防災大学礼式訓練		3
	17	水防災タイムラインカンファレ ンス全国大会2021 i n 多治 見（オンライン）		1

月	日	研 修 名	開催地	人数
1	1 2	生活困窮者レスキュー事業県央ブロック会議定例会	大村市	1
	1 3	令和3年度九州ブロック地域福祉研修会（オンライン）		2
	2 1	オンライン形式で学ぶソーシャルワーク実践力研修（オンライン）		1
	2 4	令和3年度生活福祉資金貸付事業担当職員オンライン会議		1
1	2 4	令和3年度成年後見制度利用推進会議（リモート）		1
	3 1	地域共生社会の推進及び重層的支援体制整備事業にかかる説明会（オンライン）		1
2	9	生活困窮者レスキュー事業全体会		1
3	8	生活福祉資金等に係る市町社会福祉協議会事務局長オンライン会議		2
	1 9～2 0	長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座		5

（４）事務・事業執行体制効率化の推進

諫早市との協定に基づき派遣職員２名を受け入れ、執行体制の強化を図りました。

２．福祉系大学との連携

相談援助実習生受入事業の実施

社会福祉士養成校学生の現場実習

【対象】 ５人

学 校 名	期 日	時間	人数
鎮西学院大学	8／1 6～9／1 5 (2 3 日)	1 8 4	2
〃（事前実習）	2／2 8～3／4（5 日）	4 0	1
長崎純心大学	8／1 6～9／1 5 (うち2 1 日)	1 6 3. 5	2

３．職員の講師派遣

関係団体から講師等派遣依頼を受け、職員を派遣しました。

月	日	講義内容	主催
11	10	令和3年度要約筆記者養成講座 ◎社会福祉の基礎知識Ⅰ 「日本国憲法と基本的人権の尊重」 「社会福祉の歴史と理念」	いさはや要約筆記会

月	日	講義内容	主催
12	15	令和3年度要約筆記者養成講座 ◎対人援助Ⅰ 「中途失聴者・難聴者の臨床心理」 「カウンセリングの基礎理論」 「対人援助の基礎理論」、「観察技術」	いさはや要約筆記会

【地区社協関係】

月	日	講義内容	主催
11	1	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	御館山校区社協
11	18	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	喜々津地区社協
2	24	福祉協力員及びサロン代表者研修会 ①サロン事業事務手続きについて ②サロン事業の運営について	真津山小校区社協

4. 自主財源確保の取り組み強化

会費・寄付

自治会・町内会のご協力のもと社協会員の加入促進、寄付金の受付け及び赤い羽根共同募金をはじめ各種募金の勧募の推進を図りました。

また、社協広報誌である「かんしゃ」の発行と併せ SNS を活用し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど広報活動の強化を図りました。

【会費】

	会員数（人）	会費額（円）
普通会費（100円）	36,900	3,690,000
賛助会費（1,000円）	100	554,748
特別会費（5,000円）	157	870,000

【寄付金】

26件	1,416,056円
（内訳） 篤志寄附 9件	318,696円
香典返し 16件	1,010,000円
プルタブ（換金）	87,360円

5. 日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業

日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事務局として、赤十字事業（世界の平和と人類の福祉増進に貢献するという理念に基づき活動）を資するに会員の増強を図り、継続して安定した資金の確保活動を行うことを目的に活動資金の募集を実施しました。

(1) 募金実績

勸募時期	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	1世帯当たり
5月	17,090,000	17,213,150	100.7	500

(2) 災害見舞金配付状況

災害で住居が半壊以上の被災世帯又は、床上浸水の被災世帯に対し、応急的な救援を図ることを目的として、各種救援物資および見舞金・弔慰金を支給しました。

災害見舞金 9世帯 (総額 110,000円)

6. 長崎県共同募金会諫早市支会の事業

長崎県共同募金会諫早市支会の事務局として、高齢者福祉、障害者（児）福祉、児童青少年福祉、地域福祉など、相互のたすけあいを必要とする福祉活動の費用に充てることを目的に募金活動を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、イベント募金活動の企画運営で事業を拡大し寄附文化の醸成に努めました

(1) 長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催（書面審議）

長崎県共同募金会諫早市支会運営委員：10人 監事2人

- 議案：1. 令和2年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業報告の承認について
2. 令和2年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費決算の承認について
3. 令和3年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業計画について
4. 令和3年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費予算について
5. 社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会歳末たすけあい運動配分委員の選任について

(2) 募金実績

区 分	勸募時期	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率	1世帯当たり
赤い羽根募金	10月～12月	19,889,000	18,181,190	91.4	440
歳末たすけあい募金	12月	2,845,000	2,819,160	99.1	50

7. 長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部の事業

長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部の事務局として、これまで大戦で亡くなられた戦没者を悼み、平和を祈念することを目的に勧募等を行いました。ご協力いただいた奉賛金は、本市戦没者追悼式のほか、長崎県戦没者追悼式（大村）及び沖縄戦没者追悼式参列の資金となっています。

令和3年度は、諫早市戦没者追悼式の準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため止むなく中止しました。

(1) 長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部役員会の開催 令和3年7月30日

(2) 募金実績

勧募時期	目標額（円）	実績額（円）	達成率（％）	1世帯当たり
8月	2,533,320	2,180,673	86.1	60

2 地域福祉活動の推進

1. 地区社協運営支援

新型コロナウイルス禍が長期化するなか、地域における団体活動に大きな制約を受けながらも、様々な工夫を重ね特色ある地域福祉活動を継続して実施できるよう助言や情報提供を行うなどの人的支援とともに資金面でも臨時的に助成制度を設けた対応を図りました。

(1) 地区社協会長会会議の開催

(人)

月 日	議 事	参加人数
7月27日	令和3年度 第1回地区社協会長会会議 ・第4次諫早市地域福祉活動計画における取り組みについて ・意見交換	45
2月22日	令和3年度 第2回地区社協会長会会議 ・WEB会議（オンライン会議）について ・意見交換	27

(2) 地区社協活動支援

地区社協の活動が円滑に行われるよう、地区社協地域福祉活動計画の策定支援や各種事業の実施に係る助成及びサロンの運営や立ち上げ支援、事業の推進に関する助言や情報提供などを行いました。

①支援項目別実績

(件)

支援項目	件数
事業活動に関する支援	105
地区社協地域福祉活動計画策定支援	34
サロン立ち上げ・運営に関する支援	47
各種事業打ち合わせ及び会議出席・情報提供	11
地区社協関連事業（サロン以外）に関する相談	9
各種事業（集い等）への出席	4
人材育成・研修に関する支援	15
研修会開催時の調整・講師紹介	9
講師として出席	2
研修会等への出席	4
事務局運営に関する支援	22
総会役員会等への出席	1
補助金等の説明・資料作成	21
その他	48
個別支援・対応	48
合 計	190

②地区社協総会及び事業への出席

- ・西諫早小学校区社会福祉協議会総会（4月22日）
- ・西諫早小学校区社協「役員・福祉協力員研修会」（6月8日）
- ・西諫早地区社協「花苗植え交流」（6月23日）
- ・真津山小学校区社協「第48回おもしろ科学実験」（7月10日）
- ・有喜地区社協「有喜地区ボランティアスクール」（7月14日）
- ・森山地区社協「防減災まちあるき推進研修会」（9月20日）
- ・有喜地区社協「有喜地区防災講座」（11月9日）
- ・森山地区社協「防減災まちあるき協議」（11月10日）

③ふれあいいきいきサロン

ふれあいいきいきサロンは、全地区社協で実施され令和3年度は、156箇所のサロン活動が継続しています。高齢者が気軽に集い、地域との繋がりをつくるいきがいくりの場として定着しています。今年度も新たに4箇所のサロンが開設されましたが、ボランティアの高齢化や担い手不足から活動や休止されるサロンもあり、市内全体のサロンの総数は、横ばい状態です。

【ふれあいいきいきサロン活動実績】

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	2	24	185	70

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
2	上山地区	9	1 2 8	7 7 6	5 0 8
3	上諫早地区	3	5 0	4 2 6	1 4 9
4	北小校区	2	2 1	2 0 2	2 6 6
5	西諫早小学校区	8	1 1 5	1, 0 1 6	7 0 3
6	西諫早地区	9	1 0 1	1, 0 9 0	6 6 7
7	御館山校区	3	9 0	1, 3 7 3	3 5 2
8	本野地区	9	9 4	6 1 4	3 4 2
9	長田地区	5	5	3 5	1 0
10	高来地区	1 1	1 3 8	1, 2 9 8	5 4 2
11	小長井地区	1 6	1 0 5	6 8 9	4 0 5
12	森山地区	1 4	1 8 5	1, 2 5 1	3 1 6
13	小野地区	5	5 7	5 5 3	2 2 4
14	有喜地区	7	6 7	7 4 2	1 8 8
15	小栗地区	1 1	2 7 4	2, 3 9 5	1, 0 4 4
16	飯盛地区	1 8	2 4 3	1, 9 4 4	8 1 1
17	真津山小校区	5	5 7	3 3 7	5 9 5
18	多良見東地区	9	1 1 9	1, 0 2 8	5 0 6
19	喜々津地区	8	5 6	6 1 1	2 6 8
20	多良見西地区	2	4 0	2 0 6	8 5
合 計		1 5 6	1, 9 6 9	1 6, 7 7 1	8, 0 5 1

④子育てサロン活動

子育てサロンは、13地区社協で取り組まれ、17箇所のサロンが実施されました。未就学児の親子が集い、地域の人々とのふれあいなどを通じ、子育てに対する不安の解消と地域で子育てを見守る体制づくりに取り組んでいます。

【子育てサロン活動実績】

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	1	7	5 2	5 7
2	上山地区	1	1 4	2 3	6 2
3	北小校区	1	0	0	0
4	西諫早地区	2	1 4	1 6 0	1 0 5
5	御館山校区	1	1 2	8 2	7 1
6	長田地区	1	0	0	0
7	森山地区	1	8	1 2	2 2
8	有喜地区	1	6	6 4	3 0
9	飯盛地区	2	1 6	1 4 2	3 1
10	真津山小校区	4	8	3 8	4 2
11	多良見東地区	2	4 8	5 2 9	1 4 1

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
12	喜々津地区	1	9	4 6	5 8
13	多良見西地区	1	7	6 6	2 8
合 計		1 9	1 4 9	1, 2 1 4	6 4 7

⑤福祉協力員設置事業

福祉協力員は、地校区社協会長の委嘱を受け、住民の困りごとに気づき、声かけ活動や見守り活動を行い、地校区社協の事業に積極的に取り組むなど、地域の福祉力を高めることを目的に活動しています。

今年度は、15地区社協で、民生委員・児童委員等地区社協の構成員とともに協力しながら活動しています。

【福祉協力員設置状況】 設置地区：15地区 福祉協力員数：170人

地区社協名	人数 (人)	地区社協名	人数 (人)
諫小地区	1 7	森山地区	1 1
上山地区	1 0	小野地区	1 3
上諫早地区	6	有喜地区	9
北小校区	5	真津山小校区	1 2
西諫早小学校区	1 6	多良見東地区	1 0
西諫早地区	1 3	喜々津地区	1 2
御館山校区	1 4	多良見西地区	1 0
小長井地区	1 2		

⑥世代間交流事業

高齢者や子育て世帯など、同じ地域に生活をしながら普段顔をあわせることが少ない多世代が交流することで、新たな交流が生まれお互いに支えあう関係の構築につながりました。

実施地区 4地区、実施回数19回

No.	地区社協名	実施回数	内 容
1	有喜地区	8	地域新聞の制作・配布、敬老会の日メッセージ制作、エコバック作り、壁飾り作り、清掃活動、年賀状交流
2	真津山小校区	3	花だより事業、おもしろ科学実験
3	多良見東地区	5	ハロウィン、敬老の日祝会、ふれあい年賀状、鬼火焚き
4	喜々津地区	3	ふれあい年賀状、鬼火焚き

⑦高齢者等見守りネットワーク活動

ひとり暮らし高齢者等の見守りネットワーク協力員が安心して活動できる体制整備を行い、市と協働で地域における共助の推進を行いました。

【見守りネットワーク構成状況】

要援護者登録数 2, 833人

◎見守りネットワーク協力員活動保険加入者 823人

要援護者登録とは

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、重度の障害者など、日常生活に手助けが必要な人や、災害時の避難にあたって支援が必要となる人をあらかじめ把握し、普段から地域に住む人同士で支えあい、助け合う地域づくりを目指すものです。

⑧ふれあい食事サービス事業

一人暮らし高齢者等を対象にふれあいと見守り活動の一環として、お弁当等を配付しました。

【ふれあい食事サービス事業実績】

No.	地区社協名	実施 延べ数 (回)	対象者 延べ数 (人)	ボランティア 延 べ 数 (人)
1	諫小地区	2	184	47
2	北小校区	5	1,090	110
3	西諫早地区	3	514	54
4	御館山校区	1	17	8
5	本野地区	3	124	45
6	長田地区	1	92	18
7	高来地区	8	527	77
8	森山地区	1	176	35
9	小野地区	2	182	57
10	有喜地区	1	138	32
11	飯盛地区	12	1,830	192
12	真津山小校区	1	81	13
13	多良見東地区	1	196	10
14	多良見西地区	1	83	9
合 計		42	5,234	707

⑨ひとり暮らし高齢者の集い

ひとり暮らし高齢者の方々の仲間づくりや社会参加及び高齢者の健康を願い、実施した。

【ひとり暮らし高齢者の集いの実施状況】

地区社協名	回数 (回)	人数 (人)
諫小地区	1	44

⑩地区社協・地域福祉活動計画策定

地区・校区単位での地域福祉活動計画は、そこに住む地域住民が自分たちのまちづくりを考え、行動するための目標になるものです。住民自らが、自らの基本理念を実現するため、関係機関・団体と連携し協働しながら、中長期的にその取り組みを進める計画です。

本会は、地区社協にその計画策定を働きかけ、話し合いの場づくりに参加するなど今年度は4地区の社協で計画に取り組みました。（3地区社協で策定完了）

【地区社協地域福祉活動計画策定に取り組んだ地区】

策定地区	策定期間	策定までの協議回数	備考
諫小地区	令和3年9月～令和4年3月	6回	策定済
小野地区	令和2年12月～令和4年3月	5回	策定済
森山地区	令和2年6月～令和3年6月	2回	策定済
真津山小校区	令和3年7月～	2回	策定中

2. 地域福祉強化のための施策

（1）諫早市社会福祉協議会表彰

令和3年度の社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため中止し、諫早市社会福祉協議会表彰のみを実施しました。

【被表彰者】 民生委員・児童委員（8年以上） 4人
社会福祉団体（施設）役員（10年以上） 5人
社会福祉団体（施設）職員（30年以上） 1人

（2）第4次諫早市地域福祉活動計画の策定

前年度に実施した「地域福祉に関するアンケート調査」や地区社協・地域福祉活動計画等をもとに、計画に関係する団体等の有識者及び鎮西学院大学中野伸彦教授の監修を受け、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とする「第4次地域福祉活動計画」を策定しました。（令和4年5月）

この計画は、「一人ひとりの個性を尊重し、地域でともに助け合い、みんなでつくろう私たちのまち」を基本理念とし、行政計画である「諫早市地域福祉計画（令和4年度から令和8年度）」と連動した具体的な活動・行動計画です。

3. 生きがい学び事業の実施

（1）上山荘生きがい学び講座の開催

高齢者向けに、健康の増進、各種講座による教養の向上、レクリエーションなどを開催し、高齢者の生きがいづくりに努めました。

【上山荘生きがい学び活動事業】 (人)

講座名	登録会員数	開催延べ数	延べ人数
社交ダンス	1 5	2 5	2 9 5
手 芸	8	1 9	1 1 9
大 正 琴	1 1	3 3	2 0 6
囲 碁	2 8	3 6	3 8 1
陶 芸	2 1	3 7	5 8 6
舞 踊	6	2 0	1 0 9
実 用 書 道	1 1	1 9	1 1 9
将 棋	1 5	3 7	3 0 3
俳 句	8	9	5 0
太 極 拳	2 5	3 5	3 8 1
昭 和 歌 謡	2 5	1 4	1 7 5
ヨ ガ	1 9	3 2	3 0 5
合 計	1 9 2	3 1 6	3, 0 2 9

(2) 上山荘豆知識講座の開催

講 座 名	開催月日	参加者 (人)
在宅医療について	1 月 1 3 日	4
よろず相談カフェ「道しるべ」	3 月 1 6 日	1 7

4. 住民参加による地域福祉の推進

(1) 諫早のお米で支えるプロジェクト

諫早市内の企業、個人から寄贈いただいたお米を、本会の相談窓口を利用された方で生活困窮されている世帯に対し、共同募金を基に準備した加工食品とあわせて支給しました。

【寄贈品】米 約 1, 0 1 5 kg

(2) 他機関との連携

長崎県社会福祉協議会とセブン・イレブンジャパンの地域包括連携協定に基づき、店舗改装などで発生する在庫商品の寄贈を受けました。食品や日用品などを市内の子ども食堂や母子寡婦福祉会が主催する学習支援教室に届けました。

【寄贈品】食品 1 1 箱、文房具等の日用品 8 箱

4. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席

(1) 民生委員・児童委員との連携

①諫早市民生委員・児童委員協議会連合会会長会及び正副会長会への出席

・会長会の出席 (1 2 回/年)

② 1 6 地区民生委員児童委員協議会定例会への出席 (1 7 5 回/年)

(2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席

- ・令和3年度手話奉仕員養成講座開講式（昼間の部・夜間の部）（5月10日）
- ・諫早市地域自立支援協議会運営会議地域移行部会（6月24日）
- ・令和3年度 要約筆記者養成講座開講式（7月7日）
- ・諫早市民生委員推薦会（7月6日）
- ・第64回諫早万灯川まつり（7月25日）
- ・令和3年度第1回地区社協会長会会議（7月27日）
- ・諫早市要保護児童対策地域協議会代表者会議（8月3日）
- ・諫早市地域自立支援協議会運営会議地域移行部会（8月19日）
- ・令和3年度音声訳者養成講座（10月5日）
- ・諫早市地域自立支援協議会運営会議地域移行部会（10月21日）
- ・諫早市中学校連合生徒会会議（10月25日）
- ・令和3年度諫早市健康福祉審議会（11月18日）
- ・第16回諫早市老連福祉大会（11月26日）
- ・令和3年度要約筆記者養成講座閉講式（1月19日）
- ・第2回諫早市老連「生きがい作品展」（1月13日）
- ・令和3年度手話奉仕員養成講座閉講式（3月14日）

(3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加

地域の実情に応じた福祉活動を展開するために「介護予防と生活支援の語らん場」に参加し、地域の福祉ニーズの実態把握に努めました。

No.	エリア	実施地区	参加回数
1	中央	諫小校区	1回（10/29）
2		上山地区	1回（12/2）
3	北部	西諫早地区	1回（5/24）
4		本野地区	1回（11/25）
5	東部	高来地区	1回（11/25）
6		小長井地区	1回（11/30）
7	南部	有喜地区	1回（11/16）
合 計			7回

3 ボランティア活動の推進

1. 福祉意識啓発活動

(1) 社協広報紙「かんしゃ」の発行

社協広報誌である「かんしゃ」を毎月発行し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど市民の方々にわかりやすく親しみのある紙面づくりに努めました。

発行部数 46,000部／月

(2) ホームページの充実

諫早市社協の事業活動や地域福祉に関する情報などを市民の方々に適宜周知するため、見やすく親しみやすいホームページの更新に努めました。

また、フェイスブック、インスタグラムに加え新たにライン公式アカウントを開設し、新鮮な情報発信も併せて行い福祉意識の醸成に努めました。

区 分	アクセス数
①フェイスブック	5, 200件
②インスタグラム	6, 600件

(3) イベント型福祉意識啓発活動

地域に住む一人ひとりに福祉への関心を持ってもらえるよう社会福祉会館全体を活用した募金活動、市民のみなさんからお寄せいただいたバザー用品の販売やボランティア団体の実演など他団体と協働でイベントを開催しました。

イベント名 ハロウィンルノンマルシェ

開催日 令和3年10月31日(日) 来館者：1, 100人

(4) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済み切手）

身近にあるものを集めることで家庭や職場で気軽にできるボランティア活動です。一人で集める量は少なくても多くの人が参加することで大きな支援となります。今年度も多くの団体、市民の方から協力していただきました。

【収集実績】

	個人	法人・団体	備 考
プルタブ	80件	110件	換金重量1, 560kg
使用済み切手	33件	95件	—

(5) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施

ボランティア人材の育成を図ることを目的に、ハロウィンルノンマルシェ開催時に使用済み切手整理のボランティア活動を実施し、ボランティア活動への理解と関心を深めました。

実施日 令和3年10月31日 参加者数 106人

2. ボランティア活動の振興

ボランティアコーディネーターを配置し「ボランティア活動を希望する人」と「ボランティアを必要としている人」との組み合わせを行い、ボランティア活動を側面から応援する拠点機能を目指しています。

また、ボランティアセンター登録団体が、他団体との連携によって新たな活動の展開ができるよう支援を行いました。

(1) ボランティア活動の支援（一般向け）

① ボランティアチャレンジ 2022（ボランティア体験事業）

長崎県社協が主催する「ボランティアチャレンジ 2022（ボランティア体験事業）」の期間中は、高校生をはじめとした若年層からの活動希望が多く、安心してボランティア活動が行えるよう連絡調整を行い、42件の活動へつながりました。

② 「いきいき応援隊」活動実績

「いきいきサロン」活動に「いきいき応援隊養成講座」登録者を派遣して、サロン活動が円滑に行われるよう支援しました。

【活動日及び活動場所】

※いきいき応援隊登録者 34人

No.	月 日	派 遣 先	派遣人数
1	5月13日	ふれあいいきいきサロン小船越1区	2
2	5月25日	海津見サロン	1
3	6月 7日	白岩東部ふれあいサロン	2
4	7月20日	海津見サロン	1
5	10月19日	真崎町いきいきサロン	1
6	11月 5日	お達者クラブ	2
7	1月13日	いきいきサロン馬渡	1
	合 計		10

(2) ボランティアセンター（登録団体への支援）

ボランティア活動が思うように実施できない状況が続きますが、勉強会の実施や運営方法を見直す機会となるよう支援をしました。

① ボランティアセンター登録数 団体数：92団体 個人：66人

② ボランティア仲介 10件

③ ボランティア相談 31件

ボランティア相談実績内訳

相談内容	件数
活動要請依頼	8
活動希望	10
活動保険	2
団体運営	5
活動先の紹介	2
情報提供	1
講師派遣依頼	0
その他	3
合 計	31

④ ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中の様々な事故による傷害や賠償責任などについて補償する保険として、「ボランティア活動保険」の受付及び加入促進をしました。

- ・ボランティア活動保険 132件 [団体 86団体 (2, 406人)]
[個人 46件 (56人)]
- ・ボランティア行事用保険 27件 8団体 (2, 054人)
- ・送迎サービス補償 1件 1団体 (述べ利用者数1, 300人)
- ・福祉サービス総合補償 2件 2団体 (382人)
- ⑤ボランティア団体助成支援
 - ・ボランティア活動費助成団体 36団体
 - ・ボランティア活動保険助成団体 32団体
 - ・ボランティア活動保険助成地区社協 13地区

(3) 諫早市ボランティア連絡協議会（活動支援）

ボランティア連絡協議会は、諫早市におけるボランティア活動をより円滑に推進するため、会員同士の連携・交流を図り、住民のボランティア精神の高揚とボランティア活動への参加促進を図るために活動しています。

ボランティア活動の拡大とボランティア活動への参加促進を図るため、リーフレットを作成し認知向上に向けて支援しました。

- ①ボランティア連絡協議会加入団体数 50団体
- ②諫早市ボランティア連絡協議会の主な活動
 - ・会計監査、令和3年度ボランティア連絡協議会総会
 - ・理事会開催 10回、代表者会議 3回、役員研修会 (WEB)
 - ・広報誌発行 2回

4 共同募金配分金事業の実施

1. 配分金事業の推進

勸募資金及び配分金を活用して、地域の福祉力を高めるための事業を実施しました。

(1) 赤い羽根共同募金配分金事業（事業実施月：4月から10月、3月）

事業名	事業概要
広報誌の発行	社協広報誌である「かんしゃ」を毎月発行する。
子育てサロン活動助成	子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会に対して、活動費の助成を行う。
世代間交流事業の助成	地区社会福祉協議会の世代間交流事業費の一部を助成する。
福祉団体活動助成事業	市内の福祉団体に対して、当該福祉団体の啓発事業費の一部を助成し、福祉団体の活動支援を実施する。 ①諫早市民生委員児童委員協議会連合会 ②諫早市身体障害者福祉協会 ③諫早市手をつなぐ育成会 ④諫早市老人クラブ連合会

事業名	事業概要
	⑤諫早市母子寡婦福祉会 ⑥諫早市精神障害者家族会協会
米寿記念写真贈呈事業	当該年 9 月 1 日現在満 88 歳を迎える高齢者を対象に「米寿記念写真」を撮影し贈呈する。
ふれあい食事サービスの助成	一人暮らし高齢者世帯、援助が必要な二人暮らしの高齢者世帯、障害者のみの世帯等を対象に、安否確認を目的に訪問して弁当等を提供する活動を実施する地区社協に対して材料費の一部を助成する。
高次脳機能障害者サロン「ひまわり」の実施	高次脳機能障害者とその家族に集いの場を提供し、当事者の社会参加と自立へ向けての支援を行うとともに、高次脳機能障害者について地域の理解を深めることを目的に実施する。 ・実施日時 毎週木曜日 14 時～16 時 ・場 所 地域福祉センター上山荘
新入学児童交通安全帽子配付事業	小学校新入学児童へ交通事故防止を目的に黄色い帽子を贈呈する。
小中学生修学旅行費一部助成事業	保護及び準要保護の世帯の小中学生の修学旅行費用の一部を助成する。
福祉協力推進事業協力校の指定 (福祉教育の推進)	市内の市立小、中学校、高等学校の児童・生徒及び大学生に対し、福祉意識啓発活動を行う学校を福祉協力校として指定するとともに、活動に対する助成を行う。
地区社協活動助成事業	新型コロナウイルス禍の中、訪問活動など創意工夫を重ね特色ある地域福祉活動を継続して実施する地区社協に対し、活動費の助成を行う。

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業（事業実施月：12月）

事業名	事業概要
障害者成人祝金贈呈事業	障害のある成人達成者に祝金を支給し、地域社会に踏み出す第一歩を祝福する。
ひとり暮らし高齢者の集い	閉じこもりがちな、ひとり暮らし高齢者が一堂に集い、交流をもつことで孤立感の緩和を目的に集いを開催する地区社協に対して事業費の一部を助成する。
小災害見舞金事業	火災により被災された方へ見舞金を支給する。
歳末たすけあい・生活困窮世帯生活支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により生計維持に支障をきたしている世帯に食材等に支援物資を提供する。

1. ふれあい福祉相談事業の実施

(1) ふれあい福祉相談センターの運営

【相談事業の実施】

住民の日常生活の様々な相談に応じ、事情に合わせた助言と援助を行なうとともに関係機関との連携により、専門的な対応を可能にし、問題の解決に結びつくよう支援に努めました。

◎ふれあい福祉相談員 12人

①ふれあい福祉相談開催日数及び取扱件数

開設日数	出席相談員延べ人数	取扱件数	取扱件数内訳
242日	224人	1,804件	来所・電話 10人・5件 ふれあい電話 1,789件

②専門相談の実施

・相談員 弁護士 年3回 ・相談件数 5件

(2) ふれあい電話相談

ひとり暮らし高齢者への安否確認を目的とし、在宅高齢者の見守り活動の一環として実施しました。相談者の生活上の不安や悩みに寄り添うよう努めました。

◎ふれあい電話登録者数 104人

◎ふれあい電話発信件数 1,789件

◎新規利用者訪問調査の実施

調査対象：市内在住のひとり暮らしの高齢者で、民生委員・児童委員の協力を基に見守り声かけの電話を希望する人

調査期間：随時

調査結果：ふれあい電話新規登録希望者6人

(3) 相談状況

令和3年度の相談件数は206件となっています。「生計」に関する相談は、国の制度である緊急小口資金等特例貸付を利用する傾向にあるため減少しています。「教育・青少年」「職業・生業」などの相談が多くあり、相談者の不安解消に努めました。

相談内訳

(単位：件)

区 分		ふれあい福祉相談員対応					事務局 対 応
		相 談 件 数	内 訳			電 話 ふれあい	カル テ 福 祉
			解 決	継 続	他 機 関		
1	生計	2	1	0	1	—	2 2
2	年金	0	0	0	0	—	0
3	職業・生業	0	0	0	0	—	2 8
4	住宅	7	1	3	3	—	4
5	家族	6	1	3	2	—	4
6	結婚	0	0	0	0	—	0
7	離婚	2	0	1	1	—	0
8	健康・衛生	2	0	1	1	—	0
9	医療	1	0	0	1	—	7
1 0	精神保健	2	0	1	1	—	2
1 1	人権・法律	0	0	0	0	—	2 3
1 2	財産	0	0	0	0	—	3
1 3	事故	0	0	0	0	—	0
1 4	児童福祉・母子保健	0	0	0	0	—	0
1 5	教育・青少年	0	0	0	0	—	7 1
1 6	心身障害者（児）福祉	0	0	0	0	—	1
1 7	母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	—	0
1 8	老人福祉	0	0	0	0	—	0
1 9	苦情	4	0	3	1	—	0
2 0	介護	0	0	0	0	—	0
2 1	債務	0	0	0	0	—	2
2 2	ボランティア	0	0	0	0	—	3 1
2 3	その他	7	1	5	1	—	8
取扱合計件数（件）		3 3	4	1 7	1 2	1， 7 8 9	2 0 6

2. 福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金等貸付事業を、長崎県社会福祉協議会の委託を受け実施しました。

(1) 生活福祉資金貸付事業の受託運営

【相談件数、申請件数、決定件数、決定金額】(県社協受託事業)

資 金 種 類		相談 (件)	申請 (件)	決定 (件)	決定金額 (円)
生活福祉資金 (福祉費)	生業費	6	0	0	0
	技能習得費	11	6	6	8,290,000
	住宅整備費	4	1	1	1,300,000
	福祉用具購入費	0	0	0	0
	障害者自動車購入費	1	1	1	2,500,000
	療養費	7	0	0	0
	介護等費	0	0	0	0
	災害臨時費	0	0	0	0
	冠婚葬祭費	2	1	1	328,000
	住宅移転等費	18	1	1	303,000
	技能習得等支度費	0	0	0	0
	その他一時的な費用	6	1	1	157,000
教育支援資金	教育支援費	58	15	15	35,370,000
	就学支度費	60	12	12	4,595,000
総合支援資金	生活支援費	22	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
不動産担保型生活資金		2	0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		1	0	0	0
合 計		198	38	38	52,843,000

(2) 諫早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営

市内に3月以上居住し、臨時の出費又は収入の欠如のため生活を維持することが困難で、応急的な資金を必要とし、必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められた世帯に対して貸付けを行う制度です。緊急小口資金等特例貸付事業を照会する相談が多くみられました。

貸付事業実績

相談(件)	申請(件)	貸付(件)	貸付金額(円)
18	0	0	0

3. 日常生活自立支援事業の受託運営

認知症や障害により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用手続きや金銭管理の支援を行い、利用者が安心して暮らせるよう支援するため、長崎県

社会福祉協議会から委託を受け業務を実施しました。

(1) 援助活動の実績

居宅介護支援事業所や病院のソーシャルワーカーを通して、長期間入院生活を送っていた知的障害者が退院するにあたり、在宅生活の支援依頼や家族に精神疾患がある認知症高齢者への支援などの相談がなどありました。関係機関と連携を図りながら支援に努めました。

相談件数 11件

(2) 契約状況内訳

	認知症等の 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計
新規契約件数	0	1	1	1	3
契約終了・ 解約件数	0	4	1	0	5
実利用件数	1	17	7	4	29

(3) 活動状況

専門員及び生活支援員によってサービスを提供します。専門員は相談から訪問調査、契約締結を経て支援計画の作成などを担い、生活支援員は、専門員が作成した支援計画に基づき、利用者への直接支援を行います。令和3年度は、専門員4人、生活支援員4人で活動を行いました。

①活動回数

(回)

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
1 (4)	214 (385)	85 (196)	39 (77)	339 (662)

※ () 内は専門員活動を含めた総活動回数

②電話等による支援回数 995件

4. 成年後見申立相談援助

【成年後見申立相談援助】 2件

成年後見申立相談援助に取り組み、制度紹介や成年後見申立手続支援など成年後見制度を円滑に利用できるよう支援に努めました。

1. 福祉教育の推進

多様な人がいる社会で共に支えあい、安心して生活できる社会をつくるために、子どもから高齢者まですべての人とのふれあいを通して他者の立場、心情を理解し、互いに支えあう心や態度を養うことを目的に事業を推進しました。

福祉協力校の中には、新型コロナウイルス感染予防のため、「高齢者の方とビデオレター交流」「福祉施設の方とリモート交流」人と人との接触を減らす活動する等の工夫も見られました。

(1) 福祉教育推進事業協力校の指定

児童・生徒及び学生が社会福祉への理解と関心を深め、公共に奉仕する心情、相互扶助の精神の育成を図ることを目的に指定し助成を行いました。

令和3年度は、小学校28校、中学校13校、高校3校、大学1校 合計45校を福祉協力校として指定しました。

【福祉教育推進事業協力校の活動】

活動分野	主な活動内容
広報・啓発活動	① 社会福祉についての理解を深めるための学習会、講演会、映写会など ② ボランティア等の活動を学校新聞や PTA 新聞を通して、家庭及び地域に伝える
調査・研究活動	福祉マップ作り、自然環境調査など
多種多様な分野との交流を目的とした実践活動	① 地域の高齢者、心身障害児者の訪問など ② 地域の高齢者、心身障害児者の文化祭、体育祭等学校行事への招待など ③ 地域住民との協働活動など (例：農業体験を通して地域の方と交流) ④ 社会福祉施設の訪問、見学、ボランティア活動など
地域社会づくりのための活動	清掃、美化活動、文化財の保護等地域での活動など (例：高齢者施設、駅の美化活動、学校周辺の清掃活動)
社会福祉関係行事への参加	老人福祉週間、児童福祉週間、身体障害者福祉強調月間、共同募金、歳末たすけあい運動などの社会福祉関係行事への参加協力など (例：募金活動、プルタブ、エコキャップ、ベルマーク回収活動)

(2) 福祉体験学習の支援

福祉体験学習支援について、要請のあった小学校及び中学校や職場に職員及び福祉体験サポーターを派遣しました。

- ・派遣先 小学校 6 校、中学校 3 校、諫早市役所
- ・職員派遣数 延べ 24 人
- ・福祉体験学習サポーター派遣数 延べ 26 人（登録者 27 人）
- ・主な体験内容 高齢者疑似体験、視覚障害者疑似体験、車いす体験

2. シニア美術手工芸作品展の開催

期 間：令和 3 年 10 月 28 日（木）～令和 3 年 11 月 5 日（金）
場 所：地域福祉センター上山荘
作 品：128 点
出展施設：19 施設 上山荘 3 講座

3. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催

期 間：令和 4 年 3 月 18 日（金）～令和 4 年 3 月 31 日（木）
場 所：心の花展 WEB 展示会
作 品：40 点
出展施設：11 施設等

7 施設管理経営（指定管理者）の受託

1. 諫早市社会福祉会館の管理・経営

市民の開かれた施設として、来館者が安心して利用できるよう、感染拡大防止のための利用制限を設けながら施設運営に努めました。

(1) 貸館状況

区 分	利用団体数（団体）	利用者数（人）
多目的ホール	239	7,525
第1会議室	272	3,179
第2会議室	337	2,143
小会議室	191	2,471
第1講座室	43	344
第2講座室	213	3,811
中会議室	272	3,933
録音室	119	1,017
合 計	1,686	24,423

(2) 生活援助事業

在宅の寝たきりの方や、身体に障害のある方又は突発的な理由により一時的

に必要な方に、車いすの貸与を行い在宅生活の支援を行いました。

【実績】貸与件数：45件

2. 諫早市上山荘南館の管理・経営

【諫早市上山荘南館】

月	開館日数 (日)	利用者数 (人)	一日平均利用者数 (人)
4	25	1,907	76.3
5	23	1,495	65.0
6	0	0	0
7	19	1,249	65.7
8	10	496	49.6
9	14	809	57.8
10	26	1,792	68.9
11	24	1,396	58.2
12	24	1,678	69.9
1	20	1,344	67.2
2	5	294	58.8
3	26	1,742	67.0
合計	216	14,202	(1日平均) 65.8

コロナワクチン接種会場となるための休館

6月全て7/7、14、16、22、23、26～28、8/13、16～20

コロナウイルス感染拡大防止のための休館

8/21～31、9/1～12、1/28～3/6（うち2/1～14はワクチン接種会場としての休館も兼ねる）

3. 福祉施設巡回バスの運行

マイクロバスで福祉ゾーンの区間を巡回し、利用者の利便を図りました。

【市役所～上山荘～市社会福祉会館】

月	運行日数 (日)	利用者数 (人)	平均利用者数 (人/日)
4	25	683	27
5	23	584	25
6	0	0	0
7	19	454	24
8	10	184	18
9	14	428	31
10	26	651	25
11	24	435	18

月	運行日数（日）	利用者数 （人）	平均利用者数（人／日）
1 2	2 4	5 5 6	2 3
1	2 0	4 7 5	2 4
2	5	1 4 2	2 8
3	2 6	7 4 4	2 9
合計	2 1 6	5, 3 3 6	（1 日平均） 2 4. 7

4. その他

施設の指定管理者として契約業務を遵守しながら適正な経営管理に努め、各施設を快適にご利用いただくための改修を計画的に行いました。

【主な内容】

社会福祉会館	
1 階～3 階	照明器具修繕
1 階～2 階	レンジフード取替修繕
1 階～3 階	男子・女子トイレ修繕
駐車場	駐車場館区画線修繕

上山荘南館	
浴場・脱衣室	照明器具 LED 化
浴場・脱衣室他	水道混合栓取り換え
窓	コーキング更新
浴槽水位計	電極配管改修

8 新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策

生活福祉資金貸付事業（緊急小口資金等特例貸付）の受託運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少や失業をされた世帯に対し生活費等の必要な資金の貸付を行う緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を長崎県社会福祉協議会から委託を受け実施しました。

資 金 種 類		相 談 (件)	申請 (件)	決定 (件)	決定金額（円）
緊急小口資金		2,938	385	385	74,550,000
総合支援資金	初回貸付		454	453	241,510,000
	延長貸付		87	86	47,500,000
	再貸付		231	230	127,150,000

※貸付決定件数及び決定金額は令和4年3月末通知分によるもの
相談件数は重複相談者含む

【緊急小口資金】

- ・対象者 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入減少があり緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯
- ・貸付上限額 20万以内
- ・据置期間 1年 償還期限2年以内 無利子、保証人不要

1. 諫早市水難者慰霊祭の開催

日 時：令和3年7月25日（日）18：00～20：00

会 場：高城公園大悲観世音像前

2. その他

関係機関と連携を図るため、各種委員会の委員として、役員及び職員を推薦しました。

【各種委員の推薦】

各関係機関から当該委員の委嘱依頼があり、役員及び職員を推薦しました。

◎長崎県関係

○長崎県地域生活定着支援センター運営推進委員

○長崎県県央保健所地域精神保健医療福祉協議会委員

◎日本赤十字社長崎県支部

○日本赤十字社長崎県支部評議員

◎長崎県共同募金会

○長崎県共同募金会理事

○長崎県共同募金会諫早市支会副支会長

◎長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部

○長崎県戦没者慰霊奉賛会諫早支部副支部長

◎諫早市関係

○諫早市防災会議委員

○諫早市国民保護協議会委員

○諫早市健康福祉審議会委員

○諫早市民生委員推薦会委員

○社会を明るくする運動諫早市実施委員会委員

○社会を明るくする運動諫早市実施委員会幹事

○出口ボランティア表彰審査委員

○諫早市地域自立支援協議会委員

○諫早市地域自立支援協議会地域移行部会委員

○諫早市要保護児童対策地域協議会委員

○諫早市健康づくり推進協議会委員

○諫早市健康づくり推進協議会幹事

○諫早市介護予防・日常生活支援推進会議委員

○諫早市健康福祉審議会高齢福祉部会臨時委員

○諫早市健康福祉審議会障害福祉部会委員